

特集

# 平成27年度 秋季座談会

## 農業者の所得増大と

## 地域の活性化に全力を尽くす



9月10日から16日までの4日間、JAは秋季座談会を管内4会場で開催しました。座談会では、「JA地域営農ビジョン」や平成27年度カントリイエレベーター稼働計画、山本地区組織再編（合併）などについて協議が行われ、組合員から多くのご意見・ご要望を頂きました。このページでは、皆様から頂いたご質問とその回答を掲載いたします。

### 協議事項

「地域営農ビジョン」について

**Q** 地域営農ビジョンについて、具体的な役割や誰が中心となって進めていくのか教えてほしい。

**A** 地域営農ビジョンは、行政で作成している「人・農地プラン」を元に作成することとなります。現在は認定農業者が中心になって集落（地域）の農業を進めることとなっておりますが、協同

班長、青年部、女性部、農産物生産者の代表、担い手の代表等で話し合い、将来の地域の農業を考えて行くこととなります。

